

## ● 東日本販売部

東京営業所 ☎03-5710-4501 ☎144-0052 東京都大田区蒲田5-13-23 (TOKYU REIT 蒲田ビル)  
札幌営業所 ☎011-822-1661 ☎003-0012 札幌市白石区中央二条1-5-1  
仙台営業所 ☎022-236-1020 ☎983-0034 仙台市宮城野区扇町5-6-20  
北関東営業所 ☎0285-24-0123 ☎323-0025 小山市城山町2-10-14 (日光堂ビル)  
埼玉営業所 ☎048-601-0711 ☎330-0843 さいたま市大宮区吉敷町4-261-1  
新潟営業所 ☎025-244-7890 ☎950-0912 新潟市中央区南笹口1-1-54 (日生南笹口ビル)  
千葉営業所 ☎043-225-1721 ☎260-0015 千葉市中央区富士見2-7-5 (富士見ハイネスビル)  
神奈川営業所 ☎042-786-1831 ☎252-0233 神奈川県相模原市中央区鹿沼台1-7-7 (トラスト・テック相模原ビル)  
静岡営業所 ☎054-254-5341 ☎420-0857 静岡市葵区御幸町8 (静岡三菱ビル)

## ● 西日本販売部

大阪営業所 ☎06-6266-3116 ☎542-0081 大阪市中央区南船場1-18-11 (SRビル長堀)  
名古屋営業所 ☎052-332-1701 ☎460-0022 名古屋市中区金山1-12-14 (金山総合ビル)  
富山営業所 ☎076-444-5260 ☎930-0005 富山市新桜町6-15 (Toyama Sakuraビル)  
京滋営業所 ☎075-595-7761 ☎607-8085 京都市山科区竹鼻堂ノ前町46-1 (大樹生命京都山科ビル)  
神戸営業所 ☎078-362-0091 ☎650-0025 神戸市中央区相生町1-2-1 (東成ビル)  
岡山営業所 ☎086-242-1850 ☎700-0953 岡山市南区西市801-2  
広島営業所 ☎082-286-2811 ☎732-0802 広島市南区大州3-4-1  
高松営業所 ☎087-869-2585 ☎761-8075 高松市多肥下町1511-1 (サンフラワー通り東ビルI)  
福岡営業所 ☎092-938-8222 ☎811-2317 福岡県糟屋郡粕屋町長者原東3-10-5  
長崎営業所 ☎095-824-3457 ☎850-0033 長崎市万才町3-4 (長崎ビル)  
塗料相談室 フリーコール 0120-98-1716 <https://www.dnt.co.jp/>

F☆☆☆☆

# Vフロン #200スマイル

## V-FLOON #200SMILE

弱溶剤形ふつ素樹脂塗料

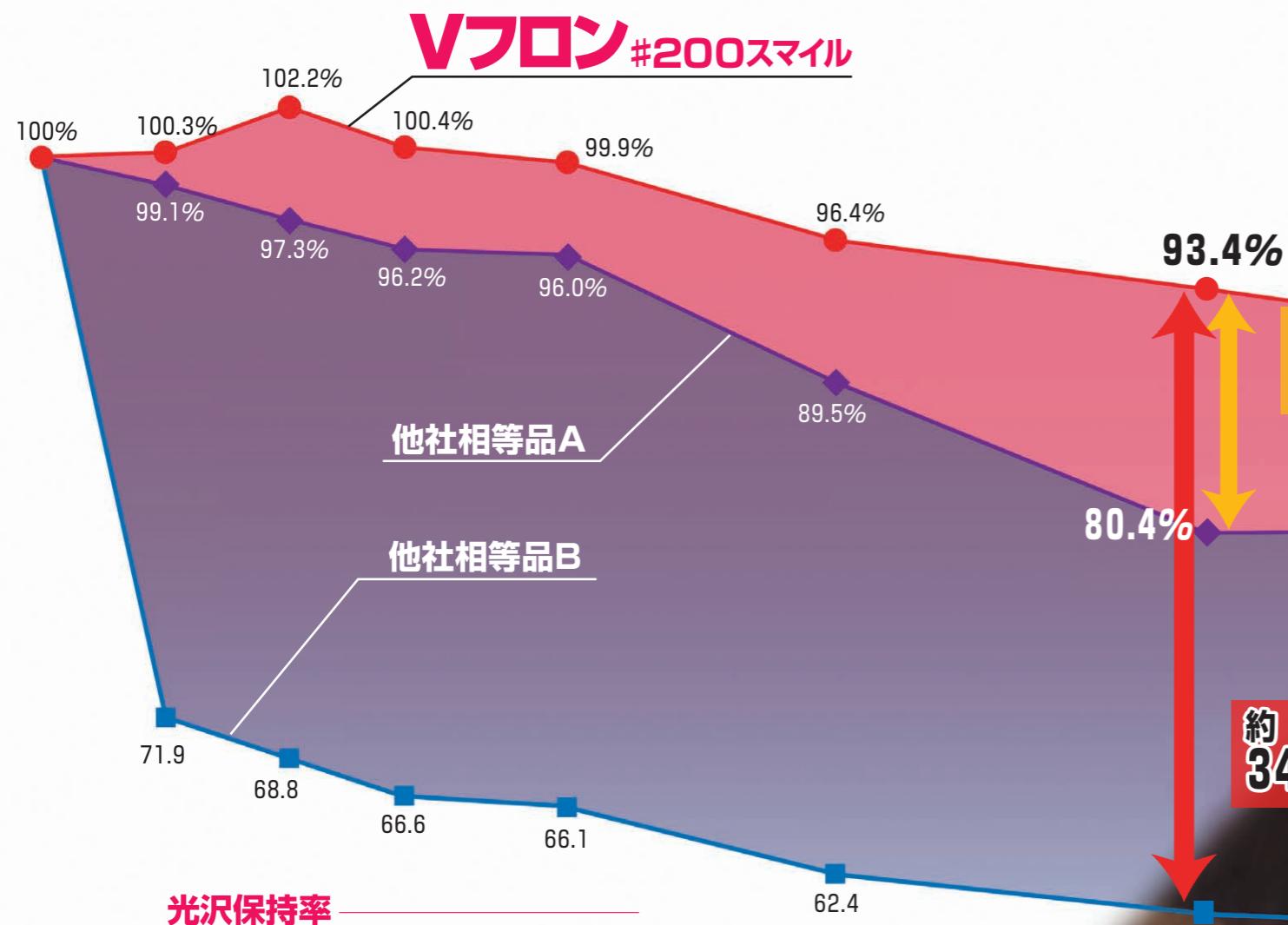


地球環境への負荷軽減のために、  
植物油インキを使用しています。

E-7977.22.07⑥(M)  
(07.1)

大日本塗料株式会社

# スタートの違いが ゴールの差になる。



## 最高の品質!! ~VFront #200の性能を受け継ぐ弱溶剤形~

弱溶剤形ふっ素樹脂塗料「VFront #200スマイル」は、弱溶剤(塗料用シンナー)希釈で環境にやさしく、さらにDNT独自の技術により、強溶剤タイプにひけを取らない仕上がり感を得ることができます。ターペン可溶形なので、塗り重ねの幅が広く、旧塗膜の選択肢も拡がります。

## 特長

- 塗膜性能は従来の強溶剤塗装システム(VFront #200上塗)と同等。
- 環境面に悪影響のあるトルエン・キレンなどを配合せず環境負荷低減に貢献できます。
- 中・上塗りとも塗料用シンナーで希釈から塗装機の洗浄までできるので作業効率も大幅UP!
- 弱溶剤形のため、あらゆる下地に塗装できます。

## ■ 製品体系

製品名	色	荷姿	混合比
VFront #200スマイル 中塗	各色	15kgセット 4kgセット	90:10
VFront #200スマイル 上塗	各色	15kgセット 4kgセット	90:10

## ■ 用途

建築物の外装および建築物鋼製建具、金具など  
※上記の用途以外に使用される場合は、弊社にお問い合わせ下さい。

# 標準塗装仕様

## 改修塗装仕様

### ■コンクリート・モルタル(吹付タイル)面の改修

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔 (20°C)
下地調整							乾燥後
下塗り	マイティー万能エポシーラー	白 又は クリヤー	主剤 90 硬化剤 10 主剤 14 硬化剤 1	5~10 10~20 30~50	刷毛・ローラー	0.10	4時間以上 7日以内
					エアレス	0.12	
中塗り	Vフロン#200スマイル 中塗	各色	主剤 90 硬化剤 10	5~10 10~20	刷毛・ローラー	0.11	2時間以上 7日以内
					エアレス	0.13	
上塗り	Vフロン#200スマイル 上塗	各色	主剤 90 硬化剤 10	5~10 10~20	刷毛・ローラー	0.12	—
					エアレス	0.15	

(注1)吸い込みの激しい部分へは、下塗を2回塗装して下さい。2回塗装しても吸い込みが止まらない場合には吸い込みが止まるまで塗り重ねて下さい。

(注2)標準使用量は、被塗物の形状や塗装方法などにより増減することがあります。

(注3)旧塗膜の状態が良好で、吸い込みの少ない場合は、必要以上に塗り込まないで下さい。ハジキなどの原因になります。

(注4)乾燥過程で水(降雨など)の影響を受けると白化することがあります。この場合は軽く表面を研磨するなどの処理をして下さい。

※1 塗装間隔は屋根面では歩行可能な最小時間として16時間(20°C)、足跡が付きやすい下地では十分な塗装間隔をとって下さい。

※本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。

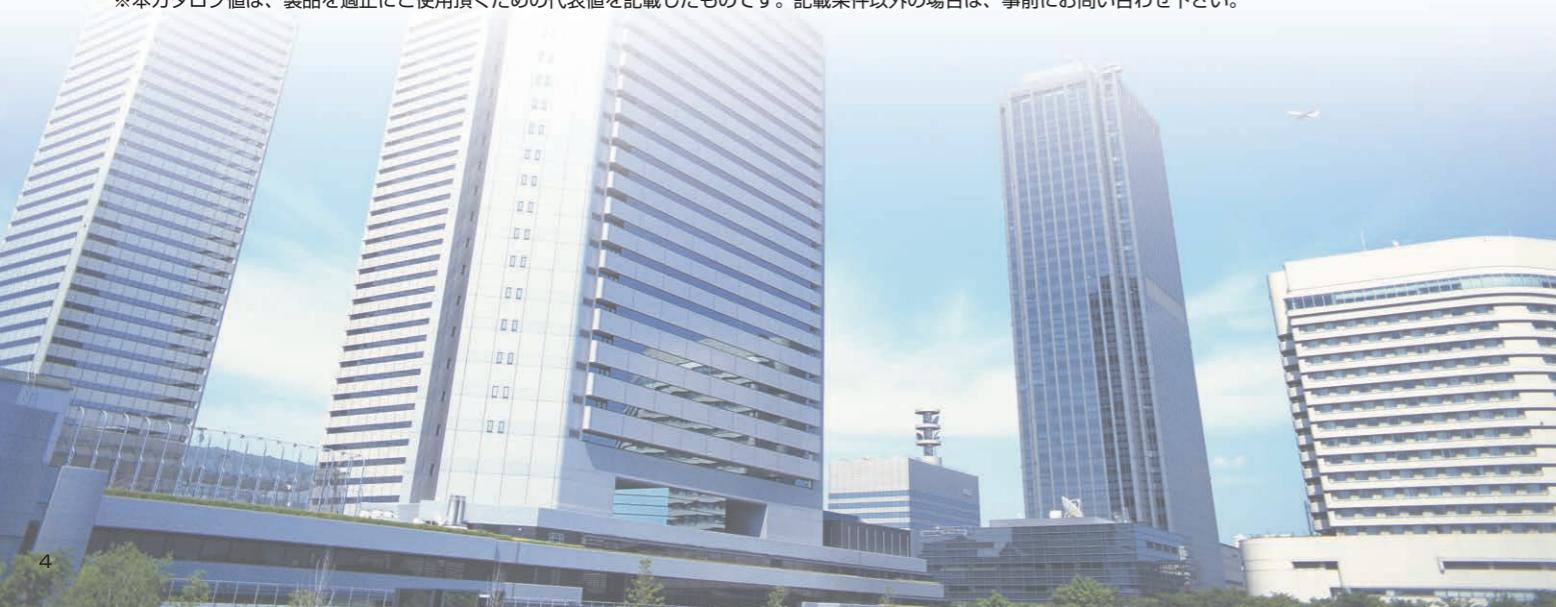
### ■一般鉄部面の改修

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔 (20°C)
下地調整							乾燥後
下塗り	エポティ	グレー ライトグレー Dホワイト	主剤 90 硬化剤 10	0~10	刷毛・ローラー	0.20	8時間以上 30日以内
				0~10	エアレス	0.26	
中塗り	Vフロン#200スマイル 中塗	各色	主剤 90 硬化剤 10	5~10	刷毛・ローラー	0.11	2時間以上 7日以内
				10~20	エアレス	0.13	
上塗り	Vフロン#200スマイル 上塗	各色	主剤 90 硬化剤 10	5~10	刷毛・ローラー	0.12	—
				10~20	エアレス	0.15	

(注1)素地露出部は、下塗りの補修塗装を行って下さい。

(注2)標準使用量は、被塗物の形状や塗装方法などにより増減することがあります。

※本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。



## 新設塗装仕様(コンクリート、モルタル面)

### ■吹付タイル仕上げ

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔 (20°C)
コンクリート 乾燥							乾燥後
素地ごしらえ							乾燥後
下塗り	マイティー万能エポシーラー	白 又は クリヤー	主剤 90 硬化剤 10	5~10	刷毛・ローラー	0.10	4時間以上 7日以内
				10~20	エアレス	0.12	
主材塗り	DNTタイルアクリルベース(K)	白系	—	0~2	タイルガン	1.30~1.70	24時間以上 1ヶ月以内
				30~50	刷毛・ローラー	0.16	
中塗り	Vフロン#200スマイル 中塗	各色	主剤 90 硬化剤 10	5~10	刷毛・ローラー	0.16	2時間以上 7日以内
				10~20	エアレス	0.20	
上塗り	Vフロン#200スマイル 上塗	各色	主剤 90 硬化剤 10	5~10	刷毛・ローラー	0.16	—
				10~20	エアレス	0.20	

(注1)コンクリート乾燥の上記乾燥期間は目安であり、特に寒冷地の場合、乾燥は十分に行って、含水率10%以下、pH10以下で塗装を行って下さい。

(注2)標準使用量は、被塗物の形状や塗装方法などにより増減することがあります。

※1 塗装間隔は屋根面では歩行可能な最小時間として16時間(20°C)、足跡が付きやすい下地では十分な塗装間隔をとって下さい。

※本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。

### ■ゆず肌仕上げ

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔 (20°C)
コンクリート 乾燥							乾燥後
素地ごしらえ							乾燥後
下地処理	釉元5号S	白 グレー	主剤 11.5 硬化剤 1.5 パウダー 10.0	0~3	刷毛・ローラー	0.50	24時間以上
				5~10	エアレス	1.00	
下塗り	マイティー万能エポシーラー	白 又は クリヤー	主剤 90 硬化剤 10	5~10	刷毛・ローラー	0.10	4時間以上 7日以内
				10~20	エアレス	0.12	
中塗り	Vフロン#200スマイル 中塗	各色	主剤 90 硬化剤 10	30~50	刷毛・ローラー	0.10~0.12	2時間以上 7日以内
				5~10	エアレス	0.20	
上塗り	Vフロン#200スマイル 上塗	各色	主剤 90 硬化剤 10	5~10	刷毛・ローラー	0.16	—
				10~20	エアレス	0.20	

(注1)コンクリート乾燥の上記乾燥期間は目安であり、特に寒冷地の場合、乾燥は十分に行って、含水率10%以下、pH10以下で塗装を行って下さい。

(注2)標準使用量は、被塗物の形状や塗装方法などにより増減することがあります。

(注3)被塗物に小さなピンホールなどがある場合は、釉元5号Sによってしごき処理を行って下さい。

(注4)下地の吸い込みがある場合は、「マイティー万能エポシーラークリヤー」を下地に含浸塗布してから7日以内に釉元5号Sを塗装して下さい。

(注5)釉元5号Sを厚付けするとクラックが発生することがありますので、使用量を厳守して下さい。

※1 塗装間隔は屋根面では歩行可能な最小時間として16時間(20°C)、足跡が付きやすい下地では十分な塗装間隔をとって下さい。

※本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。

# 標準塗装仕様

## 新設塗装仕様(コンクリート、モルタル面)

### ■平滑仕上げ

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔 (20°C)
コンクリート 乾燥	含水率10%以下、pH10以下で施工する。(夏:2週間以上、冬:3週間以上)						乾燥後
素地ごしらえ	汚れ、脆弱な層などを適切な工具(ブラシやサンドペーパーなど)を用いて除去する。 ブラシ、ホウキなどを用いて汚れ、その他有害な付着物を取り除き、清浄な面とする。						乾燥後
下塗り	マイティーウンボシーラー	白 又は クリヤー	主剤90 硬化剤10 主剤14 硬化剤1	5~10 10~20 30~50	刷毛・ローラー エアレス 刷毛・ローラー エアレス	0.10 0.12 0.10~0.12	4時間以上 7日以内
中塗り	Vフロン#200スマイル 中塗	各色	主剤90 硬化剤10	5~10 10~20	刷毛・ローラー エアレス	0.11 0.13	2時間以上 7日以内
上塗り	Vフロン#200スマイル 上塗	各色	主剤90 硬化剤10	5~10 10~20	刷毛・ローラー エアレス	0.12 0.15	—

(注1)コンクリート乾燥の上記乾燥期間は目安であり、特に寒冷地の場合、乾燥は十分に行って、含水率10%以下、pH10以下で塗装を行って下さい。

(注2)標準使用量は、被塗物の形状や塗装方法などにより増減することがあります。

(注3)巣穴が目立つ場合は「マイティーエボキシパテ」でバテ付けを行い、バテ施工後は必ず研磨をして下さい。

\*1 塗装間隔は屋根面では歩行可能な最小時間として16時間(20°C)、足跡が付きやすい下地では十分な塗装間隔をとって下さい。

\*本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。

### ■施工上の注意

①降雨、降雪の可能性の大きい場合や高温時にはつや引け、ブラッシング、硬化不良などが起こることがありますので、塗装は避けて下さい。

②結露などで塗装面が湿っている時は、はく離や硬化不良の原因となりますので避けて下さい。

③シンナーで必要以上に希釈しないで下さい。ダレたり、薄膜となり耐久性が不足し、はく離の原因ともなります。

Vフロン#200スマイルにはラッカーシンナー、ラッカーリターダーなどアルコール系溶剤が入っているシンナーは使用しないで下さい。

④Vフロン#200スマイルを直接、鉛丹ペイント、鉛丹ジンクロペイント、塩化ゴム系塗料の上には塗装できません。

⑤冬期など乾燥が遅れる場合は、塗料用シンナーA、又はエナメルシンナー#220を使用して下さい。

⑥塗装場所の気温が5°C以下、湿度が95%以上または、換気が十分でなく結露の可能性が考えられる場合、乾燥過程で欠陥を生じることがありますので、塗装を避けて下さい。

⑦塗装時、塗料の取り扱いは換気を十分に行い、火気厳禁にして下さい。溶剤形塗料

のため、室内での塗装時、及び塗装後も、必ず十分な換気をして下さい。また、外部での塗装も開口部などの養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意して下さい。

居住者への十分な配慮をお願いします。

⑧飛散防止のための養生をして下さい。

⑨建物の構造によっては、汚れ防止機能が発揮されにくい場合があります。

⑩シーリング材への塗装は、シーリング材の種類によって、割れたり、汚れたりする場合がありますので基本的に避け下さい。やむを得ず塗装する場合は、塗装用のシーリング材を十分に乾燥させた後に「マイティーウンボシーラー白」を先行塗装して下さい。

⑪刷毛塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、塗布量の違いにより表面肌が異なり色相に差が出ますので、刷毛の部分は希釈を少なめにして塗装して下さい。

⑫汚れ傷などにより、補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ず取っておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装して下さい。

⑬Vフロン#200スマイル中塗の上に強溶剤形上塗(Vフロン#200上塗)は塗装しないで下さい。リフティングを起こします。

## Vフロン#200スマイル 中塗

### ■塗料性状

項目	内 容	
容姿	二液性	
荷姿	15kgセット(主剤13.5kg、硬化剤1.5kg) 4kgセット(主剤 3.6kg、硬化剤0.4kg)	
色相	各色	
光沢	3分つや	
密度 (23°C)	塗 料	1.10~1.30
	揮発分	0.80
粘度(23°C)	75~100KU	
加熱残分	45~58%	
乾燥時間	温 度	5°C 20°C 30°C
	指 触	1時間 20分 15分
	半硬化	2時間 40分 30分
標準膜厚	25μm/回	
引火点	SDS 参照	
発火点	SDS 参照	
爆発限界(下限~上限)	SDS 参照	

上記塗料性状の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

### ■塗装基準

項目	内 容				
下地処理	素材表面の油分・汚れ・埃などを除去し、乾燥した清浄な面とする。pH10以下、含水率10%以下。				
調合法	主剤 90部 : 硬化剤 10部(重量比)				
熟成時間	-				
可使時間	20°C:8時間、30°C:4時間				
塗装方法	刷毛・ローラー・エアレス				
希釈剤	塗料用シンナー				
塗装方法	刷毛・ローラー	エアレス *1			
希釈率	5~10%	10~20%			
標準使用量	0.11kg/m <sup>2</sup> /回	0.13kg/m <sup>2</sup> /回			
標準膜厚	25μm/回				
ウエット管理膜厚	-				
塗装間隔	温 度	5°C 20°C 30°C			
	最 小	4時間 2時間 1.5時間			
	最 大	7日 7日 7日			

注)標準使用量は、実績値に基づき算出しています。

\*1 エアスプレーの場合は、エアレス希釈率より5~10%増やして下さい。

\*本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための代表値を記載したものです。

記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。

## Vフロン#200スマイル 上塗

### ■塗料性状

項目	内 容	
容姿	二液性	
荷姿	15kgセット(主剤13.5kg、硬化剤1.5kg) 4kgセット(主剤 3.6kg、硬化剤0.4kg)	
色相	各色(但し、色相には制限あり)	
光沢	つや有り、7分つや、5分つや、3分つや	
密度 (23°C)	塗 料	1.22(淡彩色)
	揮発分	0.80
粘度(23°C)	105KU	
加熱残分	64%(淡彩色)	
乾燥時間	温 度	5°C 20°C 30°C
	指 触	2時間 1時間 30分
	半硬化	16時間 8時間 6時間
標準膜厚	30μm/回	
引火点	SDS 参照	
発火点	SDS 参照	
爆発限界(下限~上限)	SDS 参照	

上記塗料性状の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

### ■塗装基準

項目	内 容				
下地処理	素材表面の油分・汚れ・埃などを除去し、乾燥した清浄な面とする。pH10以下、含水率10%以下。				
調合法	主剤 90部 : 硬化剤 10部(重量比)				
熟成時間	-				
可使時間	5°C:6時間、20°C:5時間、30°C:3時間				
塗装方法	刷毛・ローラー・エアレス				
希釈剤	塗料用シンナー				
塗装方法	刷毛・ローラー	エアレス *1			
希釈率	5~10%	10~20%			
標準使用量	0.12kg/m <sup>2</sup> /回	0.15kg/m <sup>2</sup> /回			
標準膜厚	30μm/回				
ウエット管理膜厚	75μm/回				
塗装間隔	温 度	5°C 20°C 30°C			
	最 小	24時間 16時間 12時間			
	最 大	7日 7日 5日			

注)標準使用量は、実績値に基づき算出しています。

\*1 エアスプレーの場合は、エアレス希釈率より5~10%増やして下さい。

\*本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための代表値を記載したものです。

記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。

### ■使用上の注意

引火性の液体で、危険有害性情報のある物質を含有していますので、取扱いには下記の注意事項を守って下さい。  
※詳細な内容が必要な時には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。

#### ●取扱い上の注意

- 1.火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器又は粉末消火器を用いて下さい。
- 2.塗装中、乾燥中は換気をよくし、蒸気を吸込まないようして下さい。
- 3.取扱い中は、皮膚にふれないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用して下さい。  
有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、頭巾、保護めがね、長袖の作業衣、えり巻きタオル、保護手袋等。
- 4.取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい